

山と三角点

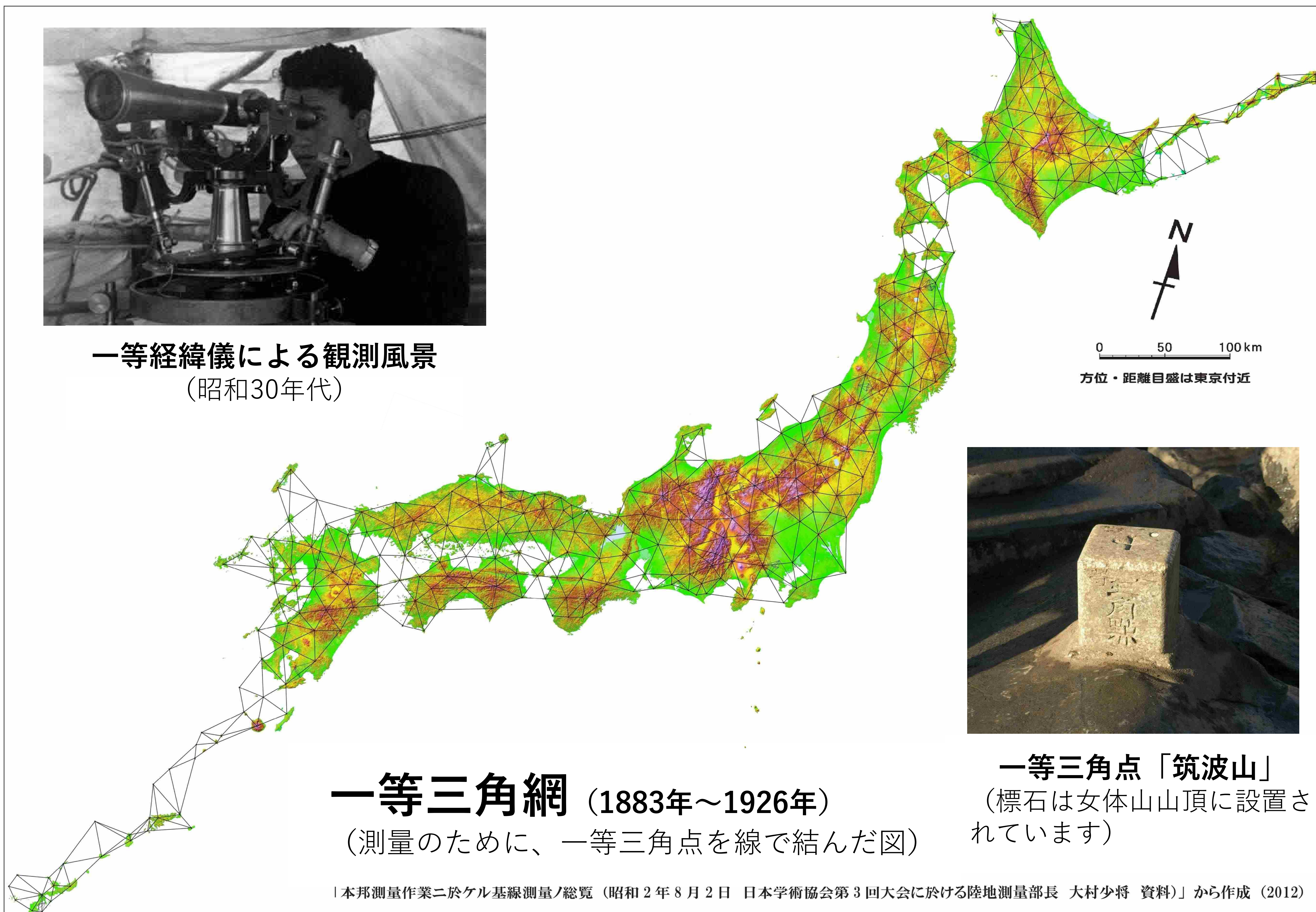
三角点の設置は、**明治16年の三角測量**から始まりました。

三角測量とは、**経緯儀**と呼ばれる望遠鏡のついた測量機で、**三角点間の角度を直接測る**ことにより、三角点に刻まれた十字マークの中心の位置（緯度・経度・標高）を決める測量です。望遠鏡で三角点を直接見通す必要があったため、山頂付近の見晴らしの良い場所に設置されています。

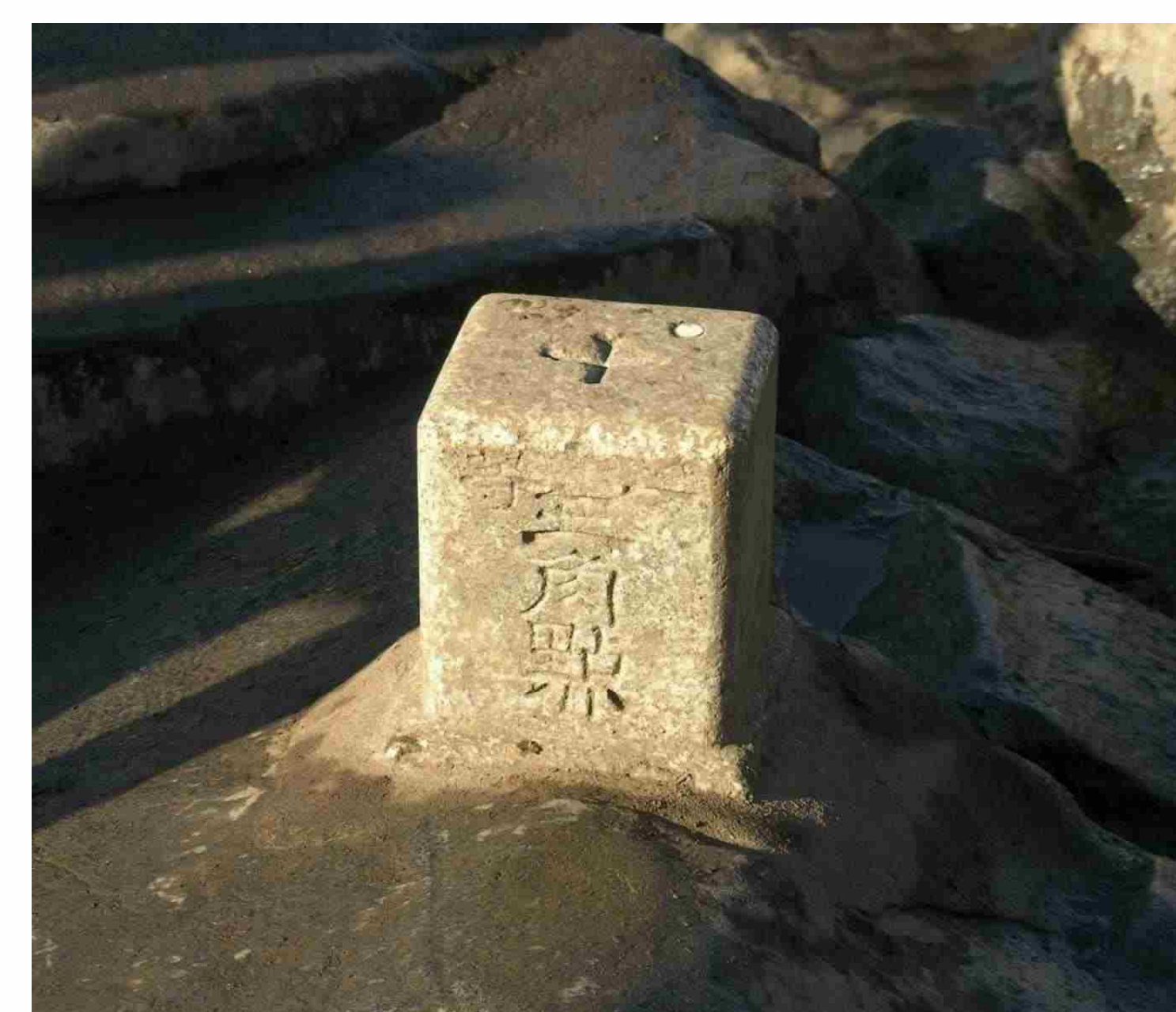
三角点は、**日本の位置（緯度・経度）の基準を表す国家基準点**で、地籍調査、道路建設、震災復興などの公共事業における測量の基準として利用されています。



一等経緯儀による観測風景
(昭和30年代)



一等三角網 (1883年～1926年)
(測量のために、一等三角点を線で結んだ図)



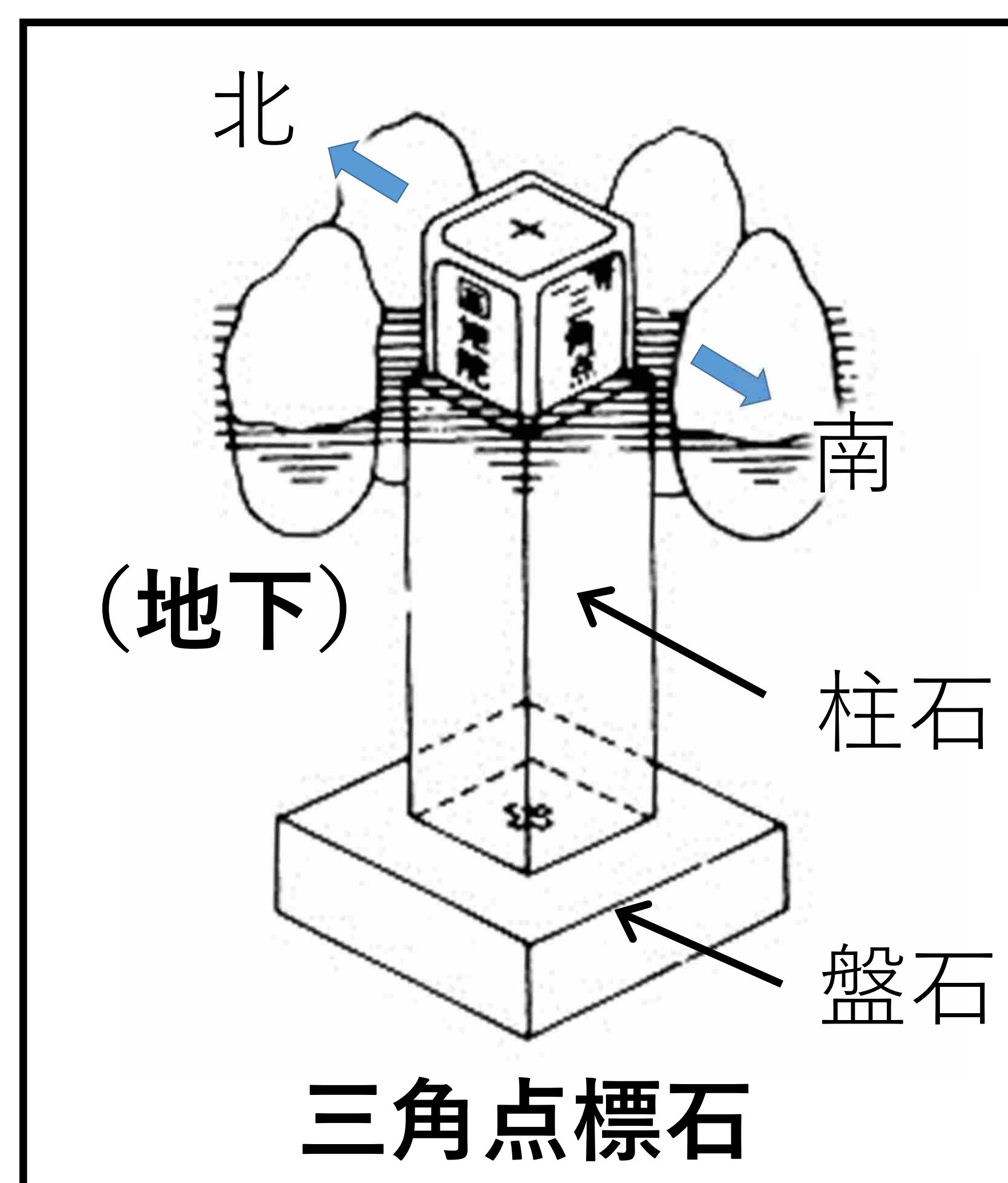
一等三角点「筑波山」
(標石は女体山山頂に設置されています)

「本邦測量作業ニ於ケル基線測量ノ総覧 (昭和2年8月2日 日本学術協会第3回大会に於ける陸地測量部長 大村少将 資料)」から作成 (2012)

三角点（標石）の主な特徴

- ▲ 風化に強い「**花崗岩**」(主に**小豆島**産)を使用
- ▲ 三角点標石は、「柱石」と「盤石」で構成され、「盤石」により復元が容易
- ▲ 三角点と刻字されている面は、**南向き**
- ▲ 刻字の書体は、「**隷書体**」

(注意：現地の状況等により例外もあります)

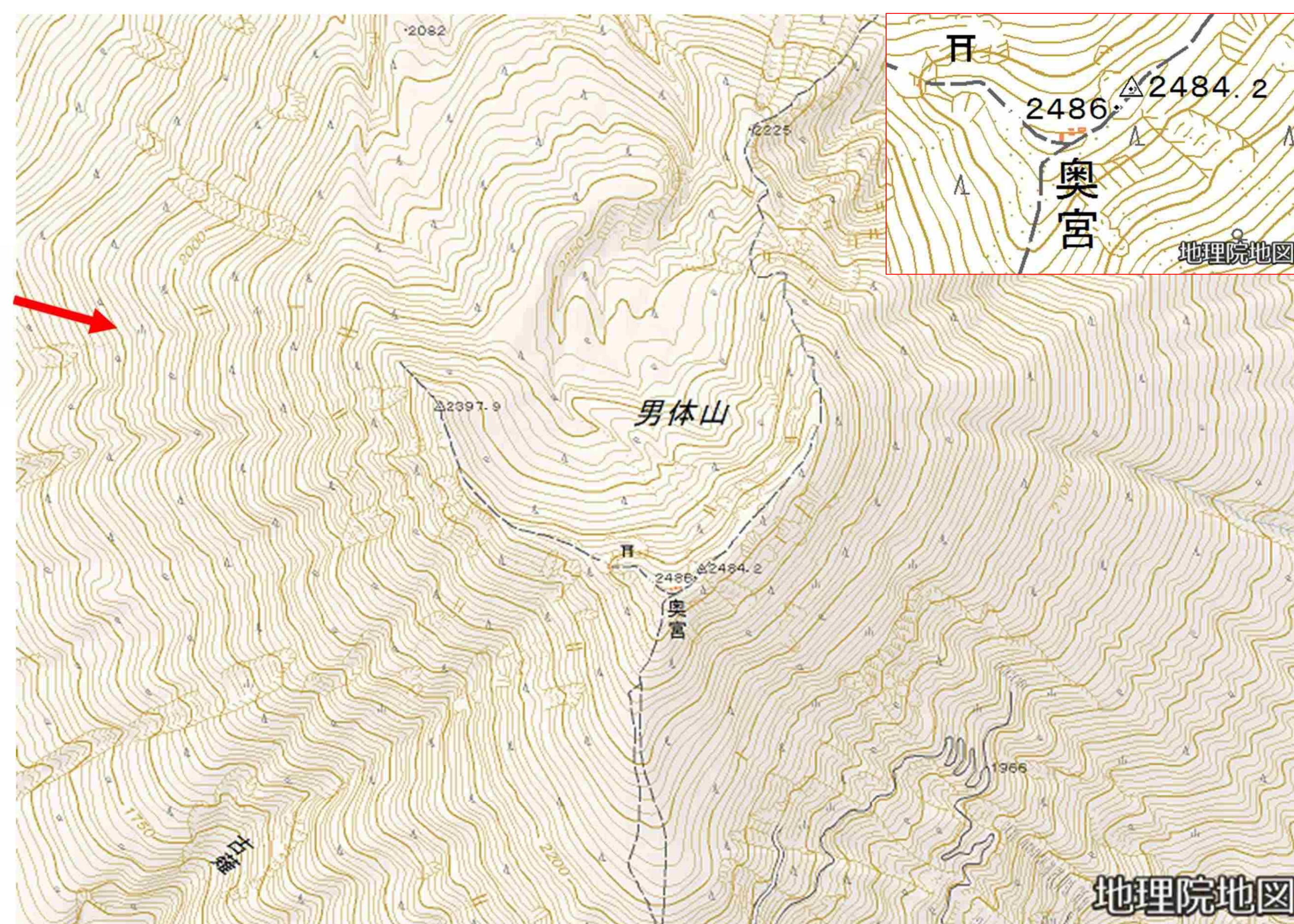


一等三角点のある山（1）

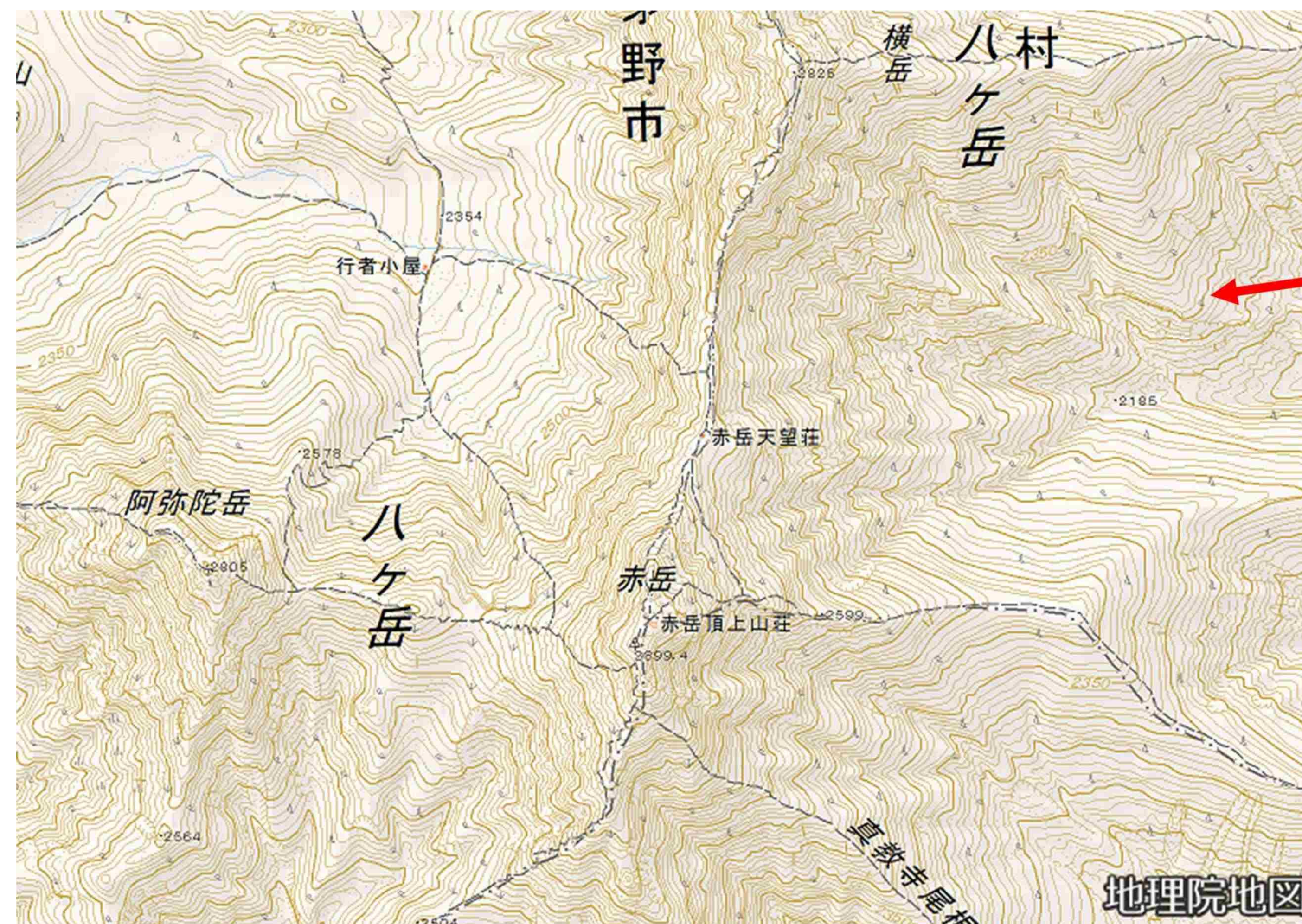
日本各地の一等三角点のある山を紹介します。これらの山は山頂からの展望は良好で、遠くまで見渡すことができます。東日本から岩手山、日光の男体山、八ヶ岳を紹介します。いずれもそれぞれの地域の象徴的な山として古くから崇められ、登山者にも人気の高い山です（地図上の赤色矢印は写真を撮影した方向を表しています。）。



岩手山(写真出典:環境省HP) 岩手山は標高2038.0mの独立峰(成層火山)で、南部富士とも呼ばれています。



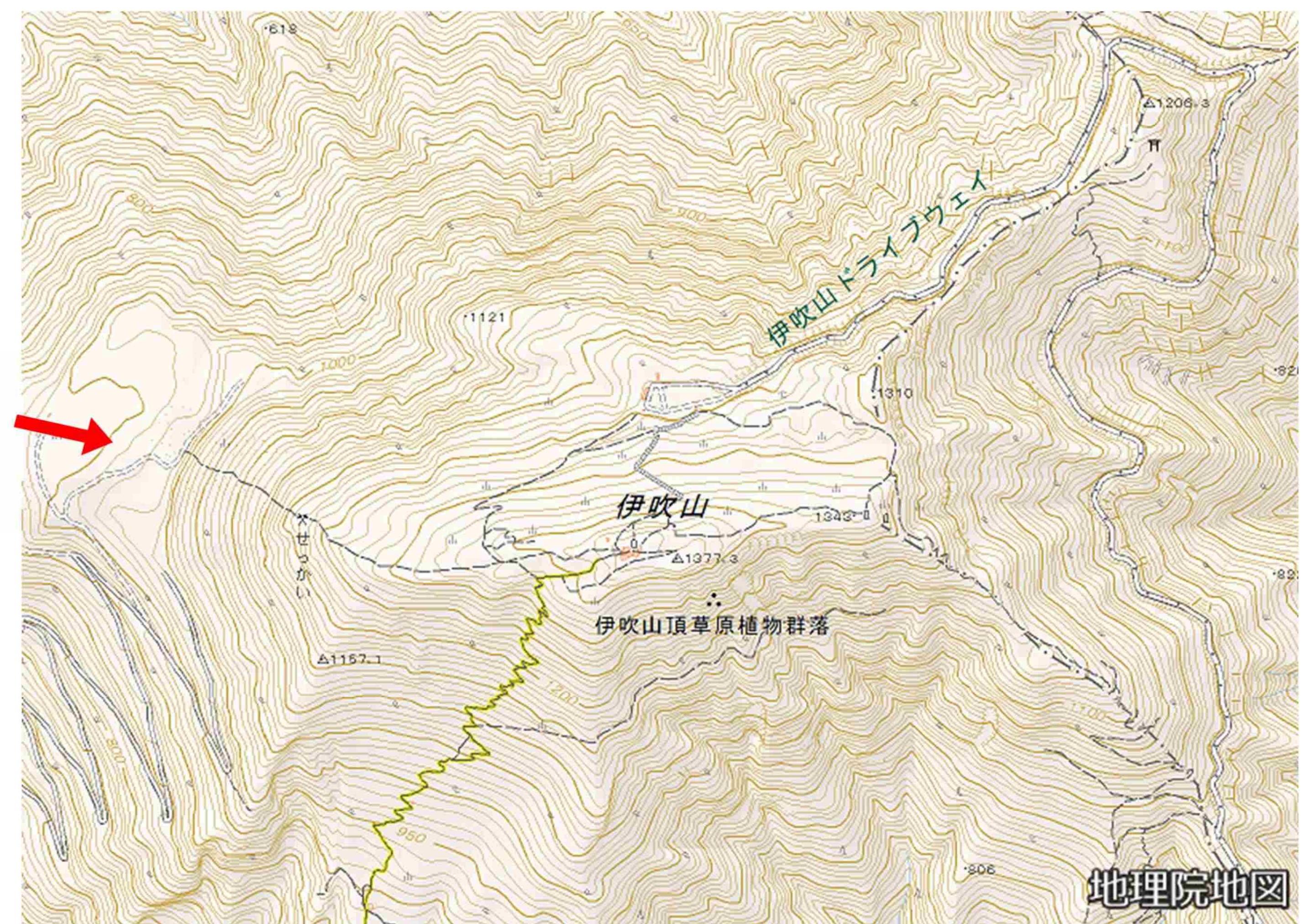
男体山(写真出典:日本山岳会) 男体山は標高2486m(独立標高点※)で、日光火山群の一つです。関東地方の広い範囲から望むことができます。(※:独立標高点は、写真測量による標高点です。小数点以下の標高値は出ていません。)



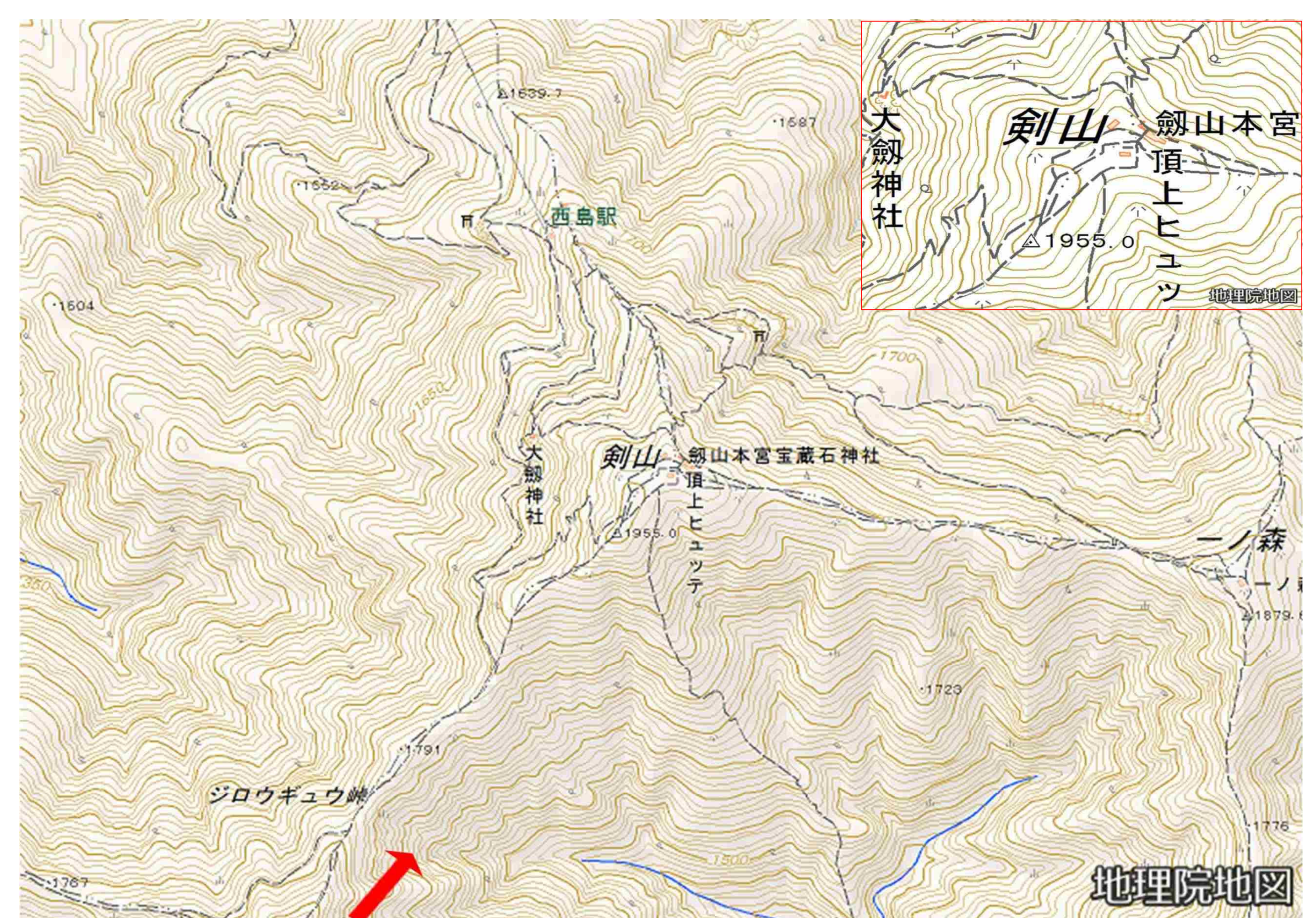
八ヶ岳(写真出典:国土地理院職員) 主峰の赤岳は標高2899.4mで、日本アルプスに匹敵する高さを誇っています。八ヶ岳は八つの峰が定義されているものでなく、たくさんの峰が集まったという意味で付けられたと言われています(諸説あります)。

一等三角点のある山（2）

（1）に続き、西日本各地の一等三角点のある山を紹介します。伊吹山と剣山は山頂近くまで乗り物で行くことができます。久住山はくじゅう連山くじゅうさんの一峰で、山麓に温泉地が点在しています。いぶきやま つるぎさん



伊吹山(写真出典: 日本山岳会) 標高は1377.3mで、滋賀県最高峰です。東海道新幹線の車窓から見るができます。



剣山(写真出典: 祖谷観光ナビHP) 剣山は標高1955.0mで、四国第二の高峰です。山頂付近は平家の馬場と呼ばれ、笹に覆われています。



久住山(写真出典: 環境省HP) 久住山は標高1786.5mです。なお、くじゅう連山の最高峰は中岳(独立標高点1791m)で、九州本土での最高峰です。